

目次

- 1面 会長あいさつ
- 2面 女性会&青年部新年交流会
県外視察研修
- 3面 関東商工会議所女性会連合会、
東京商工会議所女性会共催講演会
- 4~5面 わたし達に出来る「エコ活
動」(ボトルキャップの収集、他)
- 6面 愛Loveファミリー



発行者
佐倉商工会議所女性会
会長 井野口 綾子
A.D. 佐倉市表町 3-3-10
商工会議所内
TEL. 043 (486) 2331
FAX. 043 (486) 5963



女性会の皆さまには、軽やかなフットワークで日々ご活躍のこととお喜び申し上げます。おかげさまで二十年度におけるどの事業も、会員の皆さまの積極的なご参加とご支援により企画を更に膨らませていただき内容の濃いものとなりました。

点から面への発展に感動

天の恵みをいっぱいを受けて、すくすくと背を伸ばす水田の稲、雫を纏って美しく咲く紫陽花やアヤメの姿に、四季ある国に生まれた幸せを感じております。

**情報に流されることなく
しっかりと現実を見極め!**

株井野口建材 佐倉商工会議所 女性会 会長 井野口綾子

特にゴミの減量化とささやかな社会貢献を願いスタートいたしましたエコ活動事業では、古切手とペットボトルキャップの収集につきまして、会員の皆さまから多大なるご協力をいただき予想以上の成果を上げることができました。これは会員の皆さまのお声掛けで地域住民の方々からもご支援が得られ、点で始まった活動が広いネットワークによって面になった結果だと思えます。このような展開に感動いたしました。と、同時に心より感謝申し上げます。この善意をしっかりと受けとめ、確実に形にしてゆくことへの一層の決意を強くいたしております。

充実した活動をめざし

さて、当女性会の通常総会が五月十九日に開催され、ご多忙の中を出席して下さいました皆さま

により、全ての議案が可決承認されました。この総会にご来賓ご臨席のもと、今年度の活動についてご審議いただく大切な会であると共に、会員の皆さまの活発な交流の場でもあります。総会終了後の交流会では初参加の皆さまが自己紹介をされ、場内から歓迎の温かい拍手が送られ笑顔が溢れました。また、とても嬉しかったことはご都合がつかずにご出席できなかった方々も、きちんと委任状参加をしていただき女性会を大切に思っていただいたることが伝わってきたことです。

いよいよ二十一年度の活動が開始となります。役員は皆さまのご意見やご希望を女性会運営の柱に据えて、有意義な企画立案に取り組んでいます。そして広報委員は活動内容を全会員の皆さまにお知らせする任の大切さを感じ、多くの時間を割いてより良い広報誌づくりに励んで

水鳥の姿が重なり

今、世情は新型インフルエンザの波及など世界規模の大きなうねりが押し寄せ、政界の変化は著しく、経済状況も未だ不透明のままです。そのようななか大切なことは、情報に流されることなくしっかりと現実を見極め、考えて行動する事だと感じております。

女性会の皆さまは、どんな時にも笑顔を絶やさず「お客様に喜んで頂くこと」を常に考え、前向きに対応されています。その姿勢に吉田相談役にお聞きした「水鳥の姿」が重なります。水面下では一心に水を掻きながらも、水上では穏やかに優雅に泳いでいる。これこそ私たち商工女性の誇れる姿ではないでしょうか。

これからも私たちの明るくパワフルな笑顔を、もっと輝かせてゆきませんか。

嘶家さんの世界から学ぶ

女性会&青年部新年交流会、桜倶楽部 鈴木美智子

一月二五日、ウイシユトンホテル・ユーカーにて青年部と女性会の新年交流会が開催されると聞き、入会間もない私でした「ぜひ参加したい」と喜んで出席の

返事をさ

せていた

だきました

た。とは

いえ、や

はり初め

てのこと

それに青年部会長



で出席の解放され「ホッ」としました。

新年交流会に相

応しく着物姿の方

もいらして華やか

な中にアットホー

ムな雰囲気を感じ、

それに青年部会長



が女性会会長のご子息 井野口豊さんと知り、なるほどと納得できました。

さすが親子。絶妙な「あうんの呼吸」のご挨拶の後、入船亭扇好師匠による「伝授！人の心をつかむ話術」の講演が始まりました。嘶家さんはどんな秘訣をお持ちになら

ているのかと興味

深く聞いておりま

すと、実は「初め

のご挨拶が肝心で

ある」と落語界の

しきたりを通して

ユーモア溢れるお

話しをおうかがい

し、目からうろこが落ちる思いでした。「やはりプロは違う！」と感激し、店でも「笑顔で心の通った挨拶」を心掛ける様になりました。

次々とテンポよくプログラム

が進み、久々に寄席文化に触れ

ることができました。なかなか

拝見することが出来ない林家正

楽さんの指先から創り出される

紙切り作品の見事さ！「欲しい

方は？」の言葉に、思わず年を

忘れて手を上げてしまいました

た。その後のお楽しみ抽選会で

は童心に返ってはしゃぎ、皆さ

んから優しいお声掛けをいただ

き、何とも楽しいひとときを過

しました。



ごすことが出来ました。

このような素晴らしい催しを

企画実行された皆様感謝する

と共に、おもてなしの心も字ば

せていただきました。これから

の佐倉市の明るい未来を感じ、

自身の事業への取り組みもなお

一層真剣に努めていく決意を

し、足取りも軽く会場を後にし

ました。

県外視察研修

(独)造幣局↓NHKスタジオパーク↓日本科学未来館

繊細な職人技から広大な宇宙まで・・・大収穫の一日

志津煎餅金子屋 金子迪子

「今日は何だか楽しくなりそう」と、そんな思いをバスが出発した時から感じました。

今にも降り出しそうな空を見

上げながら、十一月二十七日に

今年度二回目の県外視察研修会

に参加しました。

最初の視察先は、造幣局でし

た。国家・社会への功績を称え

る勲章や褒章のコーナーが設け

られおり、造幣局で繊細な細工

を施された製品が誇らしげに展

示されておりました。世の中に

はそれらを授かる立派な方々が



女性会通常総会を開催！

五月十九日、緑まぶしい季節

に当女性会の「第十九回通常総

会」が、佐倉商工会議所三階会

議室にて開催され、来賓として

佐倉商工会議所から鈴木会頭、

佐倉市から豊田商工観光課長・

岩井商工労政班長をお迎えしま

した。各議案は慎重に審議さ

れ、すべて原案通り可決承認さ

れました。議事終了後に、ご来

賓の方々から「今日のような経

済不況の中で、舞台上に乗れるの

は個人の方々の力であり、きめ

細かい感性を有する女性の力で

ある。これからも一致団結して

発展されますように」との、御

祝辞をいただきました。色鮮や

かなペチュニアとロベリアで花

壇のように飾られたテーブルを

来賓の皆様と囲んでの懇談会で

は、各部会の報告や新入会員さ

んの紹介もあり、和やかな雰

気の内には、通常総会すべてが無

事終了いたしました。

おいでになられるのだなあと感
心しながらも、咄嗟に私自身は
どう？と考えてみたものの、で
もちよつと無縁のものなのかし
ら？と思いつく自分が微笑まし
かったりして。貨幣コーナーに、
面白い展示がありました。お金
の使用度を測る診断機でした。
五百円玉を入れると、「働きの
ぎです」と表示され、まるで私
みたい！と小声でつぶやくと、
係りの方が首をひねっていまし
た。(恥ずかしい)。



次の視察先、NHKスタジオオ
パークでは、入口のハイビジョ
ン画面に映る自分にびっくり。
女優気分をちよつぱり体験。ク
イズにもチャレンジしながら、
次々とフロアを巡り放送業界の
変遷を知ることができました。
最後の日本科学未来館が一番
のお気に入りでした。私は子供
の頃、理科や化学が大嫌いで、
あまり勉強しませんでした。で
も知識は無くても、興味津々で
見学しました。なぜ科学未来館



に『朝顔の針』という展示があ
るのか不思議に感じたり、見た
ことの無い機械がどんな使われ
た。

方をするのかなと考えたり、新
しい発見の連続でした。もつと
説明を聞きたいと思うほどでし
た。
研修から帰り、友達や家族に
うまく説明できない自分をもど
かしく感じながらも、自分に
とっては大収穫の一日でした。
長生きしなくて良いと思ってい
たのに、これからの地球のこと
が知りたい、見ていきたい、と
考え直しました。

「作家も経営者！林真理子さんに共感」

関東商工会議所女性会連合会・東京商工会議所女性会講演会

シェ・ムラ 村上マサ代

三月十日(火)午後二時から、
「かつてない世況の中で生き抜
く女性のあり方」という演題で、
作家の林真理子氏の講演が東商
ホールにて開催され、約六百名
が聴講しました。

小泉清子関東商工会議所女性
会連合会会長から「信念を持っ
てあきらめず、女性の視点で挑
戦し続け、明るく前向きなエネ
ルギーが社会を救います。」と
のご挨拶の後、林真理子さんが
登壇されました。
生まれ育った山梨での生活
から大学入学のために上京す

る折、「あなた
は何も持ってい
ないことを自覚
し、自立できる
ようになりなさ
い」との言葉と
共に送り出され
たそうです。

就職活動中に
は、四十三通も
の不採用通知を
受け取りながら
も、めげずにア
ルバイト生活を
続け、コピーラ



イターの道に進まれた様子をお
話しされました。
コピーライターとしての仕事
をする傍ら、エッセイ集「ルン
ルンを買っておうちに帰ろう」
を出版。数々のベストセラーを
書き、第九十四回直木賞の受賞
を初めとし、他多数の賞を受賞
された今までの執筆活動につい
てエピソードを交えて楽しく語
られました。

現在、出版業界も不況の影響
を受けていることを編集者との
やりとりから林真理子さんも実
感されているご様子リアルに
伝わってきました。この不況を
乗り切るため、ライフスタイル
の変化、特に活字離れしていく
読者に対応し執筆テーマの選び
な一日となりました。

多方面にわたる活動の経験か
ら「女性経営者は、あきらめず
に努力し、苦しい時こそ明るく
前向きに物事を考えて進んで
行ってください」と、講演会を
締めくくられました。
著名な方のお話を聞く、貴重

子供に愛を

800個で1人の命が救えます。

このカゴ1杯でキャップ約800個。
1人の命が救える貴重な資源です。



今回は14人分のポリオワクチンになりました。

これは「NPO法人世界の子供達にワクチンを、日本委員会」へ寄付されました。

この次は、もっと多くの子供達にワクチンをプレゼント出来るように頑張りましょう。キャップをゴミにしないで資源の再利用として活かしましょう。1kg焼却すると、3.15kgのCO₂が発生します。

「捨ればゴミ 集めればワクチン」を合言葉にどうぞ協力をお願い致します。

貯まりましたら近くの役員に声かけして下さい、会議所へおいでになる時にお持ち下さるようお願いいたします。

<お願い>

大変お手数をおかけ致しますが、ボトルキャップを水洗いをして下さると助かります。

<ボトルキャップエコ概要>

「捨ればゴミ
集めればワクチン」

800個が1人分のワクチン
CO₂の削減に努めましょう!

ボトルキャップの収集

3月23日、井野口会長以下役員は、奉仕活動事業部が展開している環境問題への取り組みにおける今期のまとめとして、会員のみなさまに回収のご協力いただきましたペットボトルキャップをエコキャップ推進協会の市内窓口(大明貿易株式会社)へお届けして参りました。

キャップ1kgで400個と計算され、28kgあり、11,200個ありました。

800個で、ポリオワクチン1人分が購入できるのです。



キャップ回収し易くする為に、ペットボトルを再利用した容器を作ります。「救われるかけがえのない命」を考えると、女性会メンバーの作業にも力が入ります。

時代祭で、
しちゃいました!

(有)大津屋商店 波多野貞子

四月二十六日に、青年部・女性会合同献血運動のお手伝いをしました。以前にも献血運動に参加させていたいただいたことがありましたが、時代祭りの会場で献血が実施されたのは、初めてのことでした。

当日は風が少し強かったものの、天候に恵まれ、たくさんの方が見物に訪れていました。女性会のメンバーは青年部からお借りした黄色いジャンパーを着て二〜三人ずつに分かれ、献血案内用のチラシを配りながら来場者に協力へのお声掛けをしました。

しかし、男性には「ビールを飲んでしまったから」、また女性には「薬を常用しているから」と断られたりして、積極的に協力をしてくださる方が少なかったように感じました。

今後、時代祭り会場で献血をお願いすることがあったら、もっと若い方にもたくさん協力してもらえようようにお声掛けをしようと思えました。

献血に協力していただきまし

わたし達に出来る エコ活動

地球に愛を ペットボトルのキャップ

使用済み切手の収集と再利用

3月23日、会長と志津地区役員は、富里市の協和日吉厚生園（知的障害者施設）へ約9,000枚の使用済み切手を寄贈しました。

こちらでは、作業班が使用済み切手を利用し動物、植物などのはり絵を作成したり、しおり、コースター等に加工されていました。引き続き使用済み切手回収・収集の協力をお願いいたします。



分類された切手を材料に、作品が作られてゆきます。切手を絵の具と見立てて、切り絵の芸術作品が出来上がりました。多くの人々の暖かさや熱意を感じさせるハートフルな作品となりました。

ひとりひとりのお声かけで集められた使用済み切手はこんなにありました。このあと切手の糊づけをはがし、用途別に、色や形別に分類します。



奉仕事業部の報告（御礼）

佐倉商工会議所女性会の奉仕活動事業部では、環境問題について昨年度より検討、対応に取り組み始めました。

飲み終わった後のペットボトルキャップをゴミとして捨てるのではなく、資源として集める事で世界の子供達に感染症を予防するワクチンを届ける事ができます。

21年3月末には、11,200個を回収し、14人分のワクチンを子供達に届けられました。

今年度は、もっと多くの子供達を救い、笑顔の輪を広げましょう。

皆様、お手伝いをしてくださいました方々に感謝いたしました。ありがとうございます。

《ひまわりっぴ》

先日、会社のボウリング大会があり何年振りかの挑戦となりました。

メンバーは、自分の息子と同年齢の若い男性社員十二名と女性社員三名。なんといっても私が一番年長さん。「若い者には負けられない！」とはりきつたものの、いざスタートしてみるとピンが見えない！かすんでいる！メガネもない！こうなったら決めてやるぞ、フォームで！

ところがどっこい、投げればガーター、点数ガタガタ。やはり気合だけでは無理むり。技術も伴わなければ……。

やはり甘くはなかつた！
ストレス発散どころかストレスがたつぷり！どっぷり！

「まあいいか、次があるさ」とうつむきながら自分を慰めているわたしって、とてほか・わ・い・い・ウフフ

新人会員紹介

①氏名 ②事業所名/業種 ③住所 ④電話番号 ⑤ちょっと一言



①石渡 敦子
②(有)佐倉読売サービスセンター
③佐倉市鍋木町 1205-2
④043-484-2148
⑤読売新聞販売店の業務に携って26年、相手を思いやることの大切さを実感してきました。



①鶴巻 文恵
②印旛建材(有)/建設資材販売
③佐倉市八幡台 1-7-24
④043-463-1441
⑤建設資材の碑石、山砂二次製品など扱っています。ハワイアンバンドで歌っています。



①三浦 悦子
②三浦保険事務所
③佐倉市小篠塚 591-1
④043-498-8810
⑤アフラックとアリコの代理店とカイロプラテックをやっています。



①市川 礼子
②山風花/カフェ&レストラン
③佐倉市白井台 208-2
④043-461-3004
⑤子育てが一段落、好きで収集したカップでカフェでもと思っていたことが実現しました。



①加藤 悦子
②ヘアサロンラポール/理容
③佐倉市ユーカリが丘 3-2-1 山万サンサンビル
④043-488-3532
⑤殿方のヘアスタイルと女性向アートメイクでユーカリが丘に貢献したいと思います。



①河端 マキ
②(有)千葉ベイホーム/塗装業
③佐倉市白井 10-3
④043-489-6308
⑤家の塗り替えは当社にお任せ下さい。これからお世話になります。宜しくお願いします。

主人が設計事務所を設立して三十三年になります。子供の手が離れるまでは主に経営を手伝っていましたが、当社において住宅リフォームを手掛ける事になり、私も本格的に仕事をするようになりました。従業員が退職するとせっかくのお客様との縁が途切れてしまう事を何とかしたい。そのためには、「自分がやるしかない」と本腰を入れました。当初自分には、「絶対お客様商売は出来ない」と尻込みをしていましたが、大工さんや職人さんに教えてもらいながら仕事を覚えました。仕事場では、はじめをつけるため、夫婦別姓の本田(旧姓)で通っています。お客様も従業員と思っっている方が多く、頂き物も「社長さんの分と本田さんの分」としてくださる方がおり、本当にありがたいです。



リフォーム工事に関してはほとんど私の仕事。お客様との打ち合わせや図面書き、見積り、職人さんの手配と毎日忙しくしています。

自分でも驚くほど性格も変わり少し度胸もついてきたかな?と思います。

今では、お客様と職人さんに助けられ、楽しく仕事をさせていただいています。

チラシも入れず営業マンもないのに、同じお客様が何度も依頼してくださり、お客様が

お客様を紹介してくださる、ほんとに幸せだと感謝しています。何かあったら本田へと思っていただく「住まいの家庭医」が私の目標です。

戦中生まれの主人とは、大分考え方が違う事も多いのですが、私の手に負えない事は先輩である主人のお出ましを願ってアドバイスをしてもらい、お互いを補い合いながら頑張っています。



(株)鈴木建築設計事務所

鈴木 鈴美